

◆◇◆ 日比谷宣言について ◆◇◆

この日比谷宣言は歯科医療従事者・患者・国民すべてに向けた「宣言」であり、現在の会の方向性を示す集大成といえるものだと思います。

当 NPO の提唱する 4 つのキーセンテンスは、時代の流れや人の思想に左右されない普遍的なものであり、私たちの意志でもあります。

これを軸として活動を続け、考え、提言を継続して行うための礎といえるものだと考えます。

時代の流れとともに、歯科医療側と患者側の関係や意識が変化しました。そして、倫理・責務の在り方や情報開示についての議論も、より活発化してきました。今後もこの動きは続き、やがては普遍化するのではないかと思います。

とにかくこれらは無形な水ものともいえ、時とともに大きく形を変えることも少なくないですが、倫理面やそれぞれのオートノミーは時を経ても、相互の理解・信頼のもとに、ほぼ共通のコンセンサスとして確立されるべきものではないでしょうか。

ならばこの会で、今の時点では試験的、暫定的な形であるにせよ、内容のわかる明細書の発行や、歯科総合オートノミーシステムの構築などとも併せて、現時点での最善策と考えられるものを、都度世に問うていくことで、情報開示や倫理面における流れに先鞭をつけ、少々語弊がありますが、「先んずれば制す」、「言われる前にやる」というように、何よりも一足先に動き出し、提言し続けることに意味があるのだと思います。

続けるということは言うは易しで、楽なことではありませんが、決して徒労に終わることはないと信じています。

February20, 2008 / O-dental wrote